

万九千社 立虫神社
（まぐせのやしろ たちむしじんじや）

社報



神戸の郷

第六九号 令和二年夏

「発行」六月吉日 代宮家（錦田）

暑中お見舞い申し上げます。
平素はお宮の事にご理解とご協力を賜りありがとうございます。
日本と世界を危機にさらす疫病が流行し、改めまして平穏な日常の有り難さを痛感する今日この頃です。
一日も早く病に苦しむ方々が回復され、全ての人々に浦安の日々が戻りますようお願い申し上げます。
さて、梅雨が明ければやがて夏本番を迎えます。暑さ厳しき折、皆様どうぞお健やかな日々をお過ごし下さいませ。
宮司謹白

今季の祭 立虫神社 夏祭り

今年の夏祭りは時節柄、例年より、約一ヶ月程延期しますが、神事を中心に謹んで齋行いたします。

夏祭りは、稲をはじめとする農作物が日照や風水害、虫害にあうことなく、恙なく秋の収穫を迎えることができること、人々が伝染病や暑さによる病気や怪我にあうことなく健やかに穏やかな日々を暮らせるように、そしてその力で諸産業が益々順調に発展するようにと、氏神さまにお祈りするお祭りです。



例年ですと、夜店、神楽、小学生の合唱や合奏、大文字、カラオケなど、楽しい催し物もたくさんあるのですが、今年は悪しき疫病流行予防のために、**神賑わいの諸行事は残念ながら中止**します。

こうした時節でありますからこそ、神さまに日頃の感謝をお伝えし、無病息災と疫病の退散を心を込めてお祈りしましょう。夏の夕暮れ、皆様お揃いでお参り下さい。



なお、神さまと神社の側から言えば、縁あって神立・千家に暮らす全ての人々が「氏子さん」です。どなたでも遠慮なくお参り下さいませ。

日時

八月二十三日（日）

一、本殿祭

午後四時より齋行

一、撰末社祭

午後五時より齋行

本殿祭、末社祭が夏祭りの中心です。御神前にお供え物をして氏神様をおもてなしし、官司が祝詞を奏上します。

本殿祭は、氏子を代表して、総代の皆様に昇殿してもらいます。

末社祭は、境内を取り囲む本社ゆかりの四社を時計回りにそれぞれお祭りします。

※末社当番の皆様は、五時から祭典できますよう準備をお願いします。あわせまして、各社のお護り、氏子さんへの御神酒授与など、一夜のおもてなしをよろしく願います。

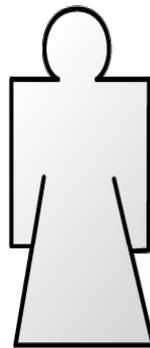
一、大祓

この日は、夏越しの大祓（旧暦六月三十日に近い日として）も行います。

ひとがた
人形に、半年のツミやケガレをうつしやり、神前に大祓詞を奏上し、それらを祓い去り、今後の無病息災、防魔鎮魂、疫病退散を祈念します。

※人形は、別途、御家庭（神社維持費家当金納入各戸）へお配りします。この紙で、身体を撫でこすり、息を吹きかけたうえ、氏名、年齢、性別を書いて、夏祭当日拝殿に用意した人形受け箱にお納め下さい。お焚き上げて祓い去ります。

※平素、氏子としての神社維持費家当金を未納の御家庭で、ご希望の方には、社務所で必要数をお授けします。遠慮なくお申し出下さい。



◎人形と引き換えに、**疫病退散 無病息災のお守り「茅の輪」**（無償）を各戸一体お受け下さい。

《あとがき》▼神社周辺の豊かな歴史的、自然的景観と鎮守のモリの風景を守り抜くために、令和元年五月、万九千神社「令和の森づくり」基金が設立されました。▼これに併せ、官司として土地を購入のうえ造成舗装した神社東側隣接地を境内地として無償貸与する事に致しました。▼去る五月四日みどりの日には、全国約四〇〇名の崇敬者様から寄せられた御寄付を基に「令和の森づくり」第一期事業として、神等去出広場（からさでひろば）と駐車場整備工事が竣功しました。当日は時節柄、神社総代と工事関係者等の少人数でしたが、竣功奉告祭と清祓を謹んで執り行いました。▼この度の事業に格別の御奉賛をいただきました全ての方々から感謝と御礼を申し上げます。▼どうか鎮守のモリの一画として、末永くお守りいただきますよう、地域の皆様の変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。▼それにして悪しき疫病には困ったものです。今年の秋祭りは盛大に齋行できますようお祈りするばかりです。（文責 官司）